

春キャベツと南瓜



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm

虫愛姫は毎日アオムシと
たたかっておられます



あの春キャベツがここまで大きくなりました。キャベツの間には収穫後を見通して南瓜の苗（透明なキャップ↓の下）が間作されています。農学はますます細分化し、それぞれの研究領域は最先端の研究を進めます。農業は土壌と気候に育まれる業ですから、農学が科学として分化深化すればす

るほど土壌と気候-地域の特性-は無視されていきます。一方で生業としての農業は地域の環境保全や経済振興において重要な構成要素であり、そうした視点をも含めた農業研究が求められはじめているように思います。かつて農業と食料供給は表裏一体でしたが、食料の輸送、保存、加工の方法が発達し、食は農から乖離しはじめています。自分が食べるものを自分で作ることで両者の間を見通す力をつけたいと思います。

エンドウマメ、ソラマメ、サヤエンドウ、塩茹でマメ三種盛

